

味方一隊計、私兵今明日一戦ふ及まざる味方
殲滅して後唯落城のみあり殊に敵上の後詰あり
有るを以て白岩傍前何りあぐ引返せし敵等の信
義を疑ひ誰者て中へまゐるを我々敵上出立の時思
ひ定まらず城内を詰めしめてみても對面敵しなをとり並
くするが今更敵に圍まれ時分助を乞ふと思は
思ふもあらず今夜の一戦に同心する生前の思ひ出
是よりいふ義運命あり、破れて之雄の多き要害の柵
に入雄旗を焚いて見んとせられ皆く以て共に同じて敵を
生擒千人余あり、東御寺にも弟て先陣上泉主水

柏崎頭花二陣山石田式部直江昌守三陣春智為
四陣杉原常陸守長尾有為五陣久下八郎兵衛土佐
左京三郎中左衛門書之助七陣墨崎肥後守矢塚九
郎兵衛八陣大將本庄義経あり、昨今六月八日僅
北敵上勢をくだまりも、猶多きとて見ざるなりされども少も
屈せざるを北陣中よりあがり四郎大進も、前後の
敵の目をわけて大將の中陣へあがり入らんとせられども、敵の
大勢敵の者も青々たる東海林矢庭に百之廿四人討れて
進み兼るも、東海林様も中陣へあがり入らんとせざる所に大將
東海林殿と見え集りて、敵の中、越後玉住人系中より